

# 英語科学習指導案

日 時 令和2年11月26日(木) 5校時  
 生徒 深川市立一已中学校 2年A組31名  
 指導者 中島 悠記

## 1. 単元名「Lesson7 Through the Internet」(教育出版 ONE WORLD English Course2)

### 2. 単元について

#### (1) 目標

- 積極的に自分の考えを表現しようとしている。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- 比較級・最上級・同格の表現を用いて、ものや人を説明することができる。(外国語表現の能力)
- まとまりのある文章を読んだり聞いたりして、内容を理解することができる。(外国語理解の能力)
- 比較級。最上級。同格の表現の文法的用法を理解している。(言語や文化に関する知識・理解)

#### (2) 単元の指導計画及び評価計画

全	学習活動	観 点			
		関心・意欲・態度	表現	理解	知識・理解
					〈評価〉
					〈振り返る活動の視点〉
1	形容詞・副詞について理解する。 ・形容詞の使い方、単語を知る。 ・副詞の使い方、単語を知る。	○			関・意・態 わからない単語や文の構造を教科書やノートを見て調べようとしている。 知・理 形容詞・副詞を正しく使うことができる。
					ア①、ア②
2	形容詞・副詞の問題を解く。 ・ワークシートを解く。 ・解答		○	○	表現 日本文から英文に訳することができる。 理解 英文から日本文に訳することができる。 知・理 形容詞・副詞を正しく使うことができる。
					ア①、イ①、イ②
3 (本時)	比較級について理解する。 ・比較級の作り方を知る。 ・比較級の文を作る。		○	○	表現 比較級を使って英文を作ることができる。 知・理 比較級の仕組みを理解する。
					ア①、ア②、イ②
4	最上級について理解する。 ・最上級の作り方を知る。 ・最上級の文を作る。		○	○	表現 最上級を使って英文を作ることができる。 知・理 最上級の仕組みを理解する。
					ア①、ア②、イ②

5	比較級・最上級の問題を解く。 ・ワークシートを解く。 ・解答		○	○	○	<p><b>表現</b> 日本文から英文に訳することができる。</p> <p><b>理解</b> 英文から日本文に訳することができる。</p> <p><b>知・理</b> 比較・最上級を正しく使うことができる。</p>	ア①、イ①、イ②、イ③
6	7-1の本文を理解する。 ・新出単語、表現の確認 ・教科書聞き取り、音読 ・本文の読み取り	○		○		<p><b>関・意・態</b> 教科書本文について既習事項を用いて読み解こうとしている。</p> <p><b>理解</b> 英文を読み、海外の夏休みの長さについて理解することができる。</p>	ア①、ア②、イ①、イ②、イ⑤
7	比較級・最上級について理解する(つづりの長い)。 ・比較級、最上級の作り方を知る。 ・比較級、最上級の文を作る。		○		○	<p><b>表現</b> 比較級、最上級を使って英文を作ることができる。</p> <p><b>知・理</b> 比較級・最上級の仕組みを理解する。</p>	ア①、ア②、イ①、イ②
8	比較級・最上級の問題を解く。(つづりの長い) ・ワークシートを解く。 ・解答		○	○	○	<p><b>表現</b> 日本文から英文に訳することができる。</p> <p><b>理解</b> 英文から日本文に訳することができる。</p> <p><b>知・理</b> 比較・最上級を正しく使うことができる。</p>	ア①、イ①、イ②
9	7-2の本文を理解する。 ・新出単語、表現の確認 ・教科書聞き取り、音読 ・本文の読み取り	○		○		<p><b>関・意・態</b> 教科書本文について既習事項を用いて読み解こうとしている。</p> <p><b>理解</b> 英文を読み、海外での人気の職業について理解することができる。</p>	ア①、ア②、イ①、イ②、イ③
10	better・best について理解する。 ・「AよりBのほうが好き」の文を作る。 ・「Aが一番好き」の文を作る。		○		○	<p><b>表現</b> better、best を使って英文を作ることができる。</p> <p><b>知・理</b> better・best の仕組みを理解する。</p>	ア①、ア②、イ①、イ②、イ⑤
11	better・best の問題を解く。 ・ワークシートを解く。 ・解答		○	○	○	<p><b>表現</b> 日本文から英文に訳することができる。</p> <p><b>理解</b> 英文から日本文に訳することができる。</p> <p><b>知・理</b> better・best を正しく使うことができる。</p>	ア①、イ①、イ②
12	7-3の本文を理解する。 ・新出単語、表現の確認 ・教科書聞き取り、音読 ・本文の読み取り	○		○		<p><b>関・意・態</b> 教科書本文について既習事項を用いて読み解こうとしている。</p> <p><b>理解</b> 英文を読み、海外での人気のあるスポーツについて理解することができる。</p>	ア①、ア②、イ①、イ②

13	<b>同格について理解する。</b> ・「A は B と同じくらい〜だ」の文を作る。		○	○	<b>表現</b> 同格を使って英文を作ることができる。 <b>知・理</b> 同格の仕組みを理解する。 ア①、ア②、イ①、イ②
14	<b>同格の問題を解く。</b> ・ワークシートを解く。 ・解答		○	○	<b>表現</b> 日本文から英文に訳することができる。 <b>理解</b> 英文から日本文に訳することができる。 <b>知・理</b> 同格を正しく使うことができる。 ア①、イ①、イ②、イ③
15	<b>7-4の本文を理解する。</b> ・新出単語、表現の確認 ・教科書聞き取り、音読 ・本文の読み取り	○		○	<b>関・意・態</b> 教科書本文について既習事項を用いて読み解こうとしている。 <b>理解</b> 英文を読み、海外での放課後の過ごし方について理解することができる。 ア①、ア②、イ①、イ②、イ⑤
16	<b>比較・最上級・同格のまとめ</b> ・イラストを見て、比較・最上級・同格を使った英文を書く。		○		<b>関・意・態</b> 他者が書いた英文を見て、何を表しているのか調べようとしている。 <b>表現</b> 比較・最上級・同格を使った英文を多く作ることができる。 ア①、イ①、イ②、イ④

※ 毎週金曜日は英単語テストを行っているが、「本時」は行わず、前時で行う。

### 3. 研究主題との関連

#### ア 振り返りの視点を明確にする

場面	<p>①終末場面において、「分かったこと」「疑問におもったこと」「印象に残ったこと、または気づいたこと」をワークシートに記述する。</p> <p>②終末場面で定着を図る確認問題や練習問題を「振り返り」として設定する。</p>
意図や工夫	<p>①視点を「分かったこと」「疑問におもったこと」「印象に残ったこと、または気づいたこと」の3つに分けて示すことで、自分の学習したプロセスや結果を分析することができる。</p> <p>②学んだ内容に合わせた適用問題に取り組み、本時で学んだことを確認し定着させる。</p>

#### イ 有効的な振り返りの活用

場面	<p>①前時に生徒がノートやワークシートに記述した学習感想を本時の導入場面で示す。</p> <p>②生徒が前時に書いた「振り返りシート」をテレビで写す、または1枚の紙で提示する。</p> <p>③1週間分蓄積した振り返りシートを読み返し、自分の学習した結果を分析する。</p> <p>④自分の書いたプリントを交換し、文字によるコメントを書いてもらう。</p> <p>⑤教師から書かれたコメントを見て、自身の疑問だった部分を理解する。</p>
意図や工夫	<p>①前時に行った学習内容を全体で復習できる、またはある生徒が書いた「疑問に思ったこと」の感想から新しい問いになることがある。</p> <p>②みんなの目に見られるという相手意識をもって書くようになったり、自分以外の生徒がどんなことを書いているのか意識したりするようになる。生徒同士が学び合うために、「振り返りシート」を全体で共有する。</p> <p>③返却された「振り返りシート」を見直し、教師から書かれたコメントなどをもとに1週間の学んだことを整理する。</p> <p>④自分にはなかった観点を級友からもらうことで、生徒はそういう見方もあったのかとなり、今度自分の文や級友の文を読んで評価する際にその観点を使うことができるようになる。</p> <p>⑤個々の理解できていない部分を把握し、教師自身も授業改善ができる。</p>

#### 4. 本時について

(1) 本時の目標

- ・比較級の文の構造を理解することができる。(知識・理解)
- ・比較級を使って英文を作ることができる。(表現)

(2) 本時の展開

	児童の学習活動	教師の手立て	評価規準・方法
導入 (5分)	1 前時の振り返りをする	<ul style="list-style-type: none"> <li>・形容詞と副詞の違いを「振り返りシート」で復習</li> <li>・具体例を提示し、課題場面を想起しやすくする。</li> <li>・日本文の型を表示することで文が作りやすくなる。</li> </ul>	〈パワーポイント〉
	2 課題を把握する ・2人の「身長」「年齢」などを比較するとき、「AはBより～だ」と説明したい。		
課 題：「比較級」の英文の作り方を覚える。			
展開 (35分)	3 例文を参考に「比較級」の文の作り方を覚える。 例文：私は、母より背が高い(です)。		
	比較級は【主語＋動詞＋形容詞／副詞 er＋than～】で文を作ることができる。		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・erの付け方：</li> <li>1) そのままerをつける</li> <li>2) eがある場合はrのみつける</li> <li>3) yで終わる場合はyをiにかえる</li> <li>4) 発音するとき「ッ」がある場合、重ねてつける</li> <li>5) 不規則に変化する well, good → better</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プリントに書かせている</li> </ul> 形容詞と副詞の左の区分けを振りかえさせる。	<b>【評価の観点】</b> 知識・理解 〈評価方法〉 観察 〈評価規準〉 比較級にするときの形容詞と副詞の変化を理解している イ②個人の振り返りから全体で共有 〈パワーポイント〉
4 例文を参考に「比較級」の文の使い方を最終確認する。	・文の作り方を確認させる。		
例文：さやかはマキより幸せそうに見えました。Sayaka looked happier than Maki.			
	5 比較級の問題を解く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3題出題</li> <li>・机間巡視し、定着を見取りながら指導する。</li> </ul>	ア②適用問題で定着
終末 (10分)	6 本時の振り返りをする。 ・全体で答えを確認	・机間巡視し、定着を見取りながら指導する。	<b>【評価の観点】</b> 表現 〈評価方法〉 ノート、観察 〈評価規準〉 比較・最上級を正しく使って英文を書ける。 ア③個人の振り返り
	7 振り返りシート記入	振り返り：「比較級」とは・・・	

(3) 本時の評価

- ・比較級の英文と判断し、その作り方が理解することができたか。(知識・理解)
- ・終末問題において比較級を使って英文を正しく作ることができたか。(表現)

5 板書計画

課題 Lesson 7-1 「比較級」の英文の作り方を覚える。

例文: 私(私) 母より 背が高いです  
I am taller than my mother.

④ 「AはBより〜だ」と2つの人物を比較するとき  
A + 動詞 + ~er than + B 英文を作ることが出来る

\* erの付け方

1) その母 er    2) eで終わる単語 → t を付ける    3) yで終わる → yをiにかえて er  
   <sup>比較</sup> nicer    <sup>可算</sup> prettier

4) 発音 っがある → 最後の文字を重ねて er    5) 不規則に変化  
   <sup>可算</sup> bigger    well(可) → better  
   good(可) → better

例文: サカ(私) マキより 幸せそうに見える  
Sayaka looked happier than Maki.

Q1 あたしのカバンは、私のものより大きいです (6)

Q2 彼はお母さんより早く起きます (17)

Q3 私は兄より上手にピアノが弾けます (19)